

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス東葛西教室		
○保護者評価実施期間	2024年12月10日		～ 2025年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年1月4日		～ 2025年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士を配置し、より専門的な観点からこどもの療育を実施できている	・作業療法士による体操メニューの充実 ・個別機能訓練の実施	作業療法士による、その他職員への勉強会の実施
2	学習療育に特化している	・小集団にて学習療育を実施 ・こどもの特性や他者との相性に合わせたグループ分け ・担当職員の設置	児童の状況に合わせた担当職員の変更の必要があった場合、職員間で話し合いを行っている
3	同法人内のSSTを利用しているこどもの状況について連携が図れているため、一貫した支援が実施できている	・学習療育と同様にSSTの集団療育が必要な場合の相談 ・向事業所を利用しているこどもの情報共有	機能訓練士や管理者間での定期的な会議の実施

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がないため、必要でも通所が難しい場合がある	送迎がないため通所出来ないお話をいただく事がある	ニーズ調査の実施を踏まえた現状の把握
2	学習療育に特化しているため、選びにくい場合もある	学習療育に限定している事は選びやすい反面、選びにくさもある	ニーズ調査の実施を踏まえた現状の把握
3	スペース的な問題で、こどもがパニックを起こした際にクールダウンできる場所がない	基準は満たしたスペースになっているが、通所しているこどもの体格などによりパニックを起こした場合クールダウンスペースの確保の難しさ	パーティションなどを用いてスペースを区切るなどの工夫